

(21) 水道局

水道局 平成22年度予算要求及び査定の概要

予算要求方針

<基本方針>

安全な水道水を安定して供給するため、老朽水道管の更新等の水道施設整備を計画的に推進します。

<平成22年度の主な取組>

- 1 上水道施設整備事業
 - (1) 地下水源整備事業
自己水源である地下水の保全に努めます。
 - (2) 拠点施設整備事業
老朽化した拠点施設の改良・更新を推進します。
 - (3) 配水ブロック整備事業
給水区域のブロック化を推進します。
 - (4) 配水支管整備事業
配水管網整備により効率的な水利用を推進します。
 - (5) 老朽管更新事業
漏水防止及び耐震化を推進します。
 - (6) 耐震化事業
水道施設及び水道管の耐震化を推進します。

予算要求額及び査定結果

<水道局合計>

(単位：千円)

平成21年度 当初予算額	平成22年度予算				
	予算要求額	水道事業管理者査定		市長査定	
		予算原案	査定額	予算原案	査定額
49,340,290	44,581,723	44,581,723	44,379,913	44,402,180	44,402,180

<水道局主要事業>

(単位：千円)

優先 順位	事業名 事業の概要	所属	平成21年度 当初予算	平成22年度 要求額	水道事業 管理者査定 市長査定	査定理由
1	上水道施設整備事業	水道計画課	7,432,671	7,761,669	7,761,669	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	7,761,669				水道事業管理者査定内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。	

優先 順位	事業名 事業の概要	所属	平成21年度 当初予算	平成22年度 要求額	水道事業 管理者査定 市長査定	査定理由
2	鉛給水管解消事業	給水装置課	1,474,498	1,093,742	1,093,742	内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	1,093,742				水道事業管理者査定内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。	
3	有効率向上対策事業	維持管理課	168,478	197,938	178,145	積算内容について、前年度の実績を参考に精査しました。
	178,145				水道事業管理者査定内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。	
4	社会福祉就労支援事業	給水装置課	0	3,262	3,262	障害者の就労支援を目的に、必要性を考慮し新規に予算化することとしました。
	3,262				水道事業管理者査定内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。	
合計			9,075,647	9,056,611	9,036,818 9,036,818	

* 水道事業会計については、地方公営企業法の規定により水道事業管理者を設置し、水道事業管理者が予算原案を作成しています。

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分		
1	上水道施設整備事業	新規	拡大	継続
会計区分	款	項	目	所管
水道事業会計	1	1	1	水道局 給水部 水道計画課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	6301	事業名	上水道施設整備事業
根拠法令等				
予算要求事業の概要				
内容	<p>主な事業として、「地下水源整備事業」、「拠点施設整備事業」、「配水ブロック整備事業」、「配水支管整備事業」、「老朽管更新事業」、「耐震化事業」の6つの事業を柱とし、維持管理時代に対応した改良・更新・耐震化を、効率的かつ効果的に行っています。</p>			
目的・目標	<p><目的> 水道事業長期構想の目標と施策の実現に向けて、中期経営計画と調整を図り策定した水道整備計画に基づき、平成18年度から平成22年度までの5か年を第一次施設整備事業とし、水道施設整備に係る施策を、総合的かつ計画的に進めていくことを目的としています。</p> <p><目標(平成22年度末)> 平成18年度から平成22年度 1 地下水源整備事業：深井戸改良・更新 12か所 2 配水ブロック整備事業：配水幹線整備 7,796m 3 老朽管更新事業：水道管布設替工事 140,252m</p>			
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 平成18年度から平成21年度 1 地下水源整備事業：深井戸改良・更新 8か所 2 配水ブロック整備事業：配水幹線整備 6,962m 3 老朽管更新事業：水道管布設替工事 107,252m</p> <p><課題> ・第二次施設整備計画 平成23年度から第二次施設整備事業に着手する予定ですが、第二次施設整備事業では施設の統廃合も視野に入れた、効率的かつ効果的な改良・更新が行える整備計画の策定が必要となります。</p>			
今後のスケジュール	<p>・平成22年度 第一次施設整備事業完了(平成18年度から平成22年度)</p> <p>・平成23年度 第二次施設整備事業着手(平成23年度から平成27年度)</p>			

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	7,432,671	<積算内訳> 1 地下水源整備事業 216,857 2 拠点施設整備事業 832,845 3 配水ブロック整備事業 540,688 4 配水支管整備事業 1,409,910 5 老朽管更新事業 4,060,394 6 耐震化事業 371,977
	財源内訳	国庫支出金 53,000 企業債 1,136,000 自己財源 6,243,671	
平成22年度	当初予算要求	7,761,669	<積算内訳> 1 地下水源整備事業 233,982 2 拠点施設整備事業 1,182,159 3 配水ブロック整備事業 379,347 4 配水支管整備事業 1,314,087 5 老朽管更新事業 4,289,679 6 耐震化事業 362,415
	財源内訳	国庫支出金 81,000 企業債 1,181,000 自己財源 6,499,669	<要求理由> 第一次施設整備計画に基づき、老朽化した水道管や基幹施設である浄水場・配水場の更新・改良及び耐震化を効率的、効果的かつ計画的に行うために要求するものです。
	水道事業管理者査定	7,761,669	<査定内容> 1 地下水源整備事業 233,982 2 拠点施設整備事業 1,182,159 3 配水ブロック整備事業 379,347 4 配水支管整備事業 1,314,087 5 老朽管更新事業 4,289,679 6 耐震化事業 362,415
	財源内訳	国庫支出金 81,000 企業債 1,181,000 自己財源 6,499,669	<査定理由> 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。
	市長査定	7,761,669	<査定内容> 同上
	財源内訳	国庫支出金 81,000 企業債 1,181,000 自己財源 6,499,669	<査定理由> 水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分	
2	鉛給水管解消事業	新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目
水道事業会計	1	1	3
所管			
水道局 業務部 給水装置課			
事務事業の位置付け			
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名
根拠法令等			
予算要求事業の概要			
内容	道路部分の水道本管分岐部分及び宅地内の水道メーター前後に使用されている鉛製給水管をステンレス鋼製フレキに交換する工事を行い、平成15年度から平成22年度までの8か年の年次計画に基づき、鉛製給水管の解消を図ります。		
目的・目標	<p><目的> 鉛製給水管を解消し、給水装置を震災に強く漏水事故発生率の少ない構造にすることで、市民に安全で良質な水の安定供給を図ることを目的としています。</p> <p><目標(平成22年度末)> 1 鉛製給水管解消率 100%</p>		
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 鉛製給水管解消率 78%</p> <p><課題> 1 施工区域 市街地中心区域を施工するにあたり、事前調査や準備に時間が掛かり、土地が狭いなど施工環境が困難性を増し、目標の解消率を達成することがこの事業の中では難しいと推測されています。 2 未施工対応 今まで対応した中で、施工できなかった箇所については、再度解消工事が可能か精査し、解消率の向上に努めます。</p>		
今後のスケジュール	<p>・平成22年度 鉛給水管取替修繕工事件数 13,467件 宅地内 11,732件 道路部 1,735件</p> <p>・平成23年度 鉛給水管解消事業は終了しますが、鉛給水管残存数は、約19,300件と予想していますので、今後は、他の水道工事(漏水修繕工事や老朽管布設替工事など)での解消や、水道メーターの交換時期に合わせての解消を図っていきます。</p>		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	1,474,498	<p><積算内訳></p> <p>1 宅地内フレキ交換 12,600件 931,181</p> <p>2 道路部フレキ交換 2,759件 543,317</p>
	財源内訳 自己財源	1,474,498	
平成22年度	当初予算要求	1,093,742	<p><積算内訳></p> <p>1 宅地内フレキ交換 11,732件 776,675</p> <p>2 道路部フレキ交換 1,735件 317,067</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><要求理由></p> <p>鉛給水管解消事業を実施するにあたり策定した8か年の年次計画に基づき、鉛給水管の残存件数を算定し、交換工事するために必要な修繕費を要求するものです。</p>
	水道事業 管理者査定	1,093,742	<p><査定内容></p> <p>1 宅地内フレキ交換 11,732件 776,675</p> <p>2 道路部フレキ交換 1,735件 317,067</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><査定理由></p> <p>内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求のとおりとしました。</p>
	市長査定	1,093,742	<p><査定内容></p> <p>同上</p>
	財源内訳 自己財源	1,093,742	<p><査定理由></p> <p>水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。</p>

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分	
3	有効率向上対策事業	新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目
水道事業会計	1	1	3
所管			
水道局 給水部 維持管理課			
事務事業の位置付け			
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名
根拠法令等			
予算要求事業の概要			
内容	配水本管接合ボルトの交換修繕や漏水調査を実施し、漏水事故の未然防止と漏水の早期発見に努め、限りある水資源の有効活用を図ります。		
目的・目標	<p><目的></p> <p>1 安定した水供給と配水幹線の延命化を図り併せて有効率向上に寄与します。</p> <p>2 漏水を早期発見・修繕し、有効率向上させることにより事業経営の健全化に貢献します。</p> <p><目標(平成32年度末)></p> <p>1 昭和50年以前に腐食性土壌に布設された配水幹線の延長、約22,260mのジョイント部に使用されている古い軟鋼製のボルト・ナットをすべて交換することを目標とします。</p> <p>2 有効率98% (平成32年度目標)</p>		
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)></p> <p>1 ジョイント腐食箇所ボルト・ナット交換修繕(累計延長19,982m) 10,634,400円</p> <p>2 有効率向上対策に伴う漏水防止に係る漏水調査委託費用 130,247,250円</p> <p><課題></p> <p>1 施工条件が厳しい場所が残っており、施工にあたって施工方法・工事規模など、再検討の必要が出ています。</p> <p>2 年別事業計画に基づいて進めているが、より有効的な調査地域選定の検討が求められています。</p>		
今後のスケジュール	事業計画のうち、ジョイント腐食箇所ボルト・ナット交換修繕につきましては、平成22年度に6か所を試掘して平成23年度修繕延長216m・平成24年度142m・平成25年度578m・平成26年度148m・平成27年度1,158mの計画を予定しています。 また、漏水調査につきましては、平成22年度から平成32年度目標達成に向けて配給水管漏水調査業務委託・軌道及び河川等横断箇所漏水調査業務委託・緊急漏水調査業務委託を予定しています。		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	168,478	<積算内訳> 1 ジョイント腐食箇所ボルト・ナット交換工事に係る経費 37,629 2 漏水調査 130,849 [主な内容] (1)配給水管漏水調査業務委託 (2)軌道及び河川等横断箇所漏水調査業務委託 (3)緊急漏水調査業務委託
	財源内訳 自己財源	168,478	
平成22年度	当初予算要求	197,938	<積算内訳> 1 ジョイント腐食箇所ボルト・ナット交換工事に係る経費 27,468 2 漏水調査 170,470 [主な内容] (1)配給水管漏水調査業務委託 (2)軌道及び河川等横断箇所漏水調査業務委託 (3)緊急漏水調査業務委託
	財源内訳 自己財源	197,938	<要求理由> 漏水事故防止のため、配水本管接合ボルトの交換修繕や漏水調査を実施するために必要な経費を要求するものです。
	水道事業 管理者査定	178,145	<積算内訳> 1 ジョイント腐食箇所ボルト・ナット交換工事に係る経費 24,722 2 漏水調査 153,423 [主な内容] (1)配給水管漏水調査業務委託 (2)軌道及び河川等横断箇所漏水調査業務委託 (3)緊急漏水調査業務委託
	財源内訳 自己財源	178,145	<査定理由> 積算内容について、前年度の実績を参考に精査しました。
	市長査定	178,145	<査定内容> 同上
	財源内訳 自己財源	178,145	<査定理由> 水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分		
4	社会福祉就労支援事業	新規	拡大	継続
会計区分	款	項	目	所管
水道事業会計	1	1	3	水道局 業務部 給水装置課
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名	
根拠法令等				
予算要求事業の概要				
内容	水道メーターは、計量法により使用できる期間は8年間と定められており、検定有効期限に近づいたため取替えられた水道メーターを、分解し再資源として利用するものと、そうでないものに分類する業務を障害者授産施設へ委託します。			
目的・目標	<p><目的> さいたま市水道事業長期構想の「環境に配慮したやさしい水道」の実現に向けて、古い水道メーターの再資源化を推進するとともに、本市障害者総合計画や八都県市首脳会議提案の「障害者の働く機会を創設し授産施設等の安定運営に寄与する」ことを目的としています。</p> <p><目標(平成 年度末)></p>			
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)></p> <p><課題> 業務委託する対象メーターを拡大していくために、障害者総合支援センター及び授産施設と協議し、障害者の方々が分解・分類が可能かどうかを確認していきます。</p>			
今後のスケジュール	現行対象メーター		対象メーターを拡大した場合	
	・平成22年度	分類予定個数	51,500 個	
	・平成23年度	分類予定個数	47,908 個	72,766 個
	・平成24年度	分類予定個数	48,433 個	65,156 個
	・平成25年度	分類予定個数	49,286 個	64,243 個
	・平成26年度	分類予定個数	66,967 個	78,043 個
	・平成27年度	分類予定個数	43,412 個	56,676 個

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	3,262 <積算内訳> 1 人件費 1,947 2 産業廃棄物処分費 498 3 諸経費 389 4 運搬費 428
	財源内訳 自己財源	3,262 <要求理由> 水道メーターのリサイクルに係わる仕事を福祉施設に委託することにより、障害のある方々の社会参加、就労支援、生活支援などをするために要求するものです。
	水道事業 管理者査定	3,262 <査定内容> 1 人件費 1,947 2 産業廃棄物処分費 498 3 諸経費 389 4 運搬費 428
	財源内訳 自己財源	3,262 <査定理由> 障害者への就労支援を目的に、必要性を考慮し新規に予算化することとしました。
	市長査定	3,262 <査定内容> 同上
	財源内訳 自己財源	3,262 <査定理由> 水道事業管理者査定の内容及び理由について、適正と認められるため、水道局原案のとおりとしました。